

event news

2014年1月イベントのお知らせ

「構造見学会（佐伯区観音台）」
 「初めての家づくり教室（ハツイエセミナー）」
 「光冷暖（ひかりれいだん）体感会」
 の3つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

必要となる耐力壁の数が大幅に低減できます。柱と梁の接合部にSE構法オリジナルの金物を採用するためです。見学会会場では、SE構法をご紹介する映像や実物大のカットモデルも展示致しますので、是非ご自身の目で確認し、その信頼性をご実感下さい。



『初めての家づくり教室』

■開催日：1月26日（日）
 ■開催時間：午後2時～4時
 ■場所：Gallery 様（エヌテック事務所隣）
 ■事前にご予約をお願い致します。

あなたが家づくりを始めるにあたって、是非

『SE構法 構造見学会』

■開催日：1月19日（日）
 ■開催時間：午前10時～午後4時
 ■場所：広島市佐伯区観音台
 ■事前にご予約をお願い致します。

「決める前に必ず見ておこう。」
 家は何十年も暮らすことになる家族の基盤です。子や孫の代の事まで考えると、ゆるぎない構造に支えられた“安心”と“安全”を軽視するわけにはいかないはず。エヌテックが家づくりで最も重要に考えている事は、「地震にも耐える構造の確かさ」です。パッシブデザインの家づくりも重要ですが、まずは構造がしっかりしていなければ元も子もありません。構造の確かさを満たした上で、パッシブデザインをより発揮させるために最適なのがSE構法です。鉄骨造やRC造、大規模建築物と同じ手法で構造計算されるSE構法には、在来工法で

【イベントへのご参加方法】

事前にご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。

- ・弊社ホームページのフォーム（URL <http://www.ntecj.co.jp/>）
- ・エヌテック代表メール（info@ntecj.co.jp）
- ・エヌテックへのお電話（082-509-5771） 担当：佛崎（ぶつぎ）・松下まで

『キンカンの工作室ミニチュア制作』新年は2月から開催です！！

「キンカンの工作室」こと、“萩谷幹”先生によるミニチュア制作教室。12月21日（土）にはお子様向けの教室が開催されました。毎回お子様達の発想力には驚かされます。今回も「鏡餅と書初め」のはずが…楽しい作品がたくさん出来上がりました。お子様達から「3月の春休みには弁当が作りたい！」とのリクエストがあり、3月にはお子様向け「お花見弁当」を開催する予定です。

キンカンの工作室ミニチュア制作教室
 第10回：2月19日（水）午前10時～12時
 料金・制作品：未定
 場所：Gallery「様」（エヌテック事務所横）
 ※詳しい内容が決まりましたらご連絡いたします。
 ※先着8名様限定です。
 ※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。
 ※当日制作した作品はお持ち帰りいただけます。



非知っておいていただきたい内容を集めたセミナーを開催いたします。なぜこのセミナーをご紹介するのかというと、家づくりは本当に高価で一生に一度の大きな買い物であるにもかかわらず建ててから「失敗した」や、「後悔している」と感じている人が大変多いからです。このセミナーの一部を紹介すると

- ・日本に住んでいる私たちが絶対に知っておくべきこと
- ・一生快適で、光熱費一生ゼロの夢の家のつくりかた
- ・「今、太陽光パネルをつけておけば安心」の落とし穴
- ・「一流ハウスメーカーだから安心に違いない」の罠
- ・耐震等級3以上をなぜクリアしなければならないのか？

など家づくりを始める前に知っておいていただきたいことばかりです。限定5組（申し込み順）となっております。今すぐお申し込みを！



セミナーの様子

12月の「鏡餅と書初め」です



（注）「鏡餅と書初め」制作は終了しております。

超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.11 JAN. 2014

株式会社エヌテック
 〒733-0007
 広島市西区大宮 2-13-7
 TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772
 E-mail:info@ntecj.co.jp
 HP:<http://www.ntecj.co.jp>

超・快適への道「快適は“質”の時代へ」④

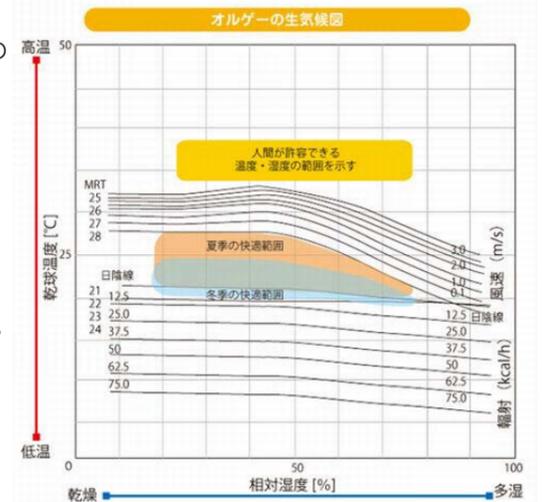
「快適空間の質を考える、その4」

広島（特に広島市内）は瀬戸内気候の温暖なイメージがあるようですが、実は氷点下にもなる寒い地域です。「夏はマニラ（亜熱帯並）冬はパリ（ヨーロッパ並み）」といった両極端な気候を持つ日本の環境は結構過酷です。（東京大学：前准教授のHPより）この両極端を1戸の住宅スペースで解決しなければならず、しかも、省エネルギーでなければなりません。また、何度も書いたように、人が過ごす室内空間が温熱的に快適であるかどうかは、健康を維持するためにも不可欠です。快適な室内空間を作る…そのためには目標設定が必要です。快適通信VOL09でも取り上げたように、研究により「快適ゾーン」が大体分かっていて、夏期温度で30度くらいまで、湿度60%以下、



冬期で温度18度以上、湿度40%以上、とされています。図は、「オルゲーの生気候図」で、1963年に出版された「Design with Climate」（V・オルゲー著）に掲載されたものです。冬と夏の快適範囲を示し、温度湿度はもちろん、風速（風により体感は変化します）、放射が人体の快適にどのように影響するかを示したものです。このような資料を基に「快適ゾーン」を設定し、次に建築によって快適ゾーンに迫るための性能を検討します。その時に「パッシブデザイン」で得られる採暖、採涼、採光も加味し“底上げ”を図ることが大きなポイントです。次にどのような設備でどのくらい不足を補うかを検討して行きます。エネルギーの消費だけを考えると太陽光発電や省エネ設備に走ってしまう傾向があ

りますが、太陽光発電のような創エネ設備は快適を作るわけではありません。設備だけに頼ると十分な快適が得られず、かえってエネルギー消費量の多い家になってしまう可能性もあります。続きます。



風もなく、音もなく。放射による冷暖房＝『光冷暖』体感会開催

『光冷暖 体感会』

■開催日：1月12日（日）
 ■開催時間：午後5時～7時
 ■場所：Gallery 様（エヌテック事務所隣）
 ■事前にご予約をお願い致します。

一般利用として開放している Gallery 様ですが、光冷暖を設置してからはご利用いただく方に温度調節の仕方をご説明いたします。みなさん興味深々。しばらく光冷暖のご説明をすることも多々あります。9月上旬に設置しましたが、そのころは残暑でまだまだ暑い日が続いており、現在は

冬も本番、寒い日が続いています。どちらの時期も「きもちいい」「快適」「冷暖房がかかってないみたい」などの声が聞こえてきます。そうなんです。光冷暖の特徴である「風もなく、音もなく、家中が、床から天井までムラのない温熱環境」なんです。家中どこへ行っても床から天井まで涼しく暖かく、風も来ず、ムシムシせず乾燥し過ぎず、嫌な匂いもなく、小さな子供がいても危険もない冷暖房。そんなことが実現出来たら…。

「光冷暖」（ひかりれいだん）

は、求めてきた快適空間作りに対するひとつの答えです。また光冷暖を効果的に使用するには、エヌテックがこだわっている家の性能も大きく影響します。気になるお値段のこともあります。ぜひ、一度「様」で体感頂き、実際をお確かめ下さい。





My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『お引渡し』

土井長元気

工務部の土井長です。12月は2棟のお引渡しがありました。1棟目は西区のK様邸「kunugi001」です。



2棟目は尾道市のK様邸「ki-bako musubi」です。



両家ご家族のこれからの基盤となる住まいづくりに携わらせていただき深く感謝致します。また厳しい工期中、住まい造りをお手伝いして下さった協力業者の皆様にも深く感謝しなければなりません。ありがとうございました。

お引渡し後は『家守り』として、未長くよろしくお願ひ致します。

1月は仕事始めの第一週から佐伯区観音台で上棟があります。こちらの準備も万全で臨みたいと思います。

『家守りはおまかせ下さい』

佛崎浩平

お客様サポートの佛崎です。12月は師走という名の通り大忙しです。可能な限りメンテナンスに伺います。



先日、ハニカムサーモスクリーン（ダブル・ハニカム（蜂の巣）構造のスクリーンが二重の空気層を作り断熱の効果がある高断熱・省エネスクリーン）のコードロックの不具合がたび重なるため、取り替えることとなりました。部品の内部構造を確認しながら、取替をします。どんな動きでロックをするのか、ロックがきかなくなる動作はどんな状況なのか、などなど…実際に、自分で確認しながら取り替えることによって、日々学んでいます。



また、現在賃貸マンションのリフォーム工事を行っています。この度のリフォームは賃貸マンションということで、床材の商品にいろいろと検討をしました。まずは、キズが付きにくいこと！そして、単純作業でメンテナンスが出来ることです。そこで選んだ商品は、リリカラのレイフロアです。カッターひとつでメンテナンスが可能。接着剤も乾燥して固まらないので、傷ついた部分のみ剥がして張り替えることが出来ます。不特定多数の方々が入替わる賃貸では、とても重要な事です。またひとつ、用途に対して商品選択の重要性を学びました。

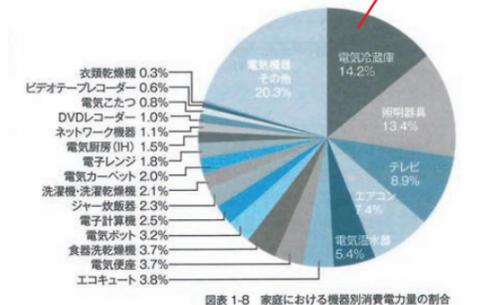
『年間の消費電力量』

谷口護

設計担当の谷口です。「冷蔵庫にものが入らん。」結婚して2年。妻から何度も指摘を受けてきた言葉です（笑）。今使っている冷蔵庫は、私が一人暮らしを始めて買った冷蔵庫で、かれこれ9年も経っています。エレクトロラックスby東芝の時代に買った製品で、結構な値段がした記憶があります。



そんな冷蔵庫、容量は188リットルで年間の消費電力量は450kWh。実家からよくお野菜を頂戴する我が家の家庭事情には、確かに小さいと思います。というわけで、思い切って冷蔵庫を買い換えることにしました。冷蔵庫の消費電力量は家庭内の約1/7を占めていますので、冷蔵庫を省エネタイプにする事は光熱費を下げる効果がとてもあることとなります。



(家庭の省エネエキスパート検定テキストより抜粋) 家電量販店に行き、冷蔵庫を物色。私は職業柄、年間の消費電力量ばかりが気になり、妻は性能を担当。

いろいろ見ていると、日立の冷蔵庫の消費電力量が一番小さかったです。190kWhの製品には驚きました。ただ、もちろん予算もあるので最終的には「真空チルドの日立 vs 野菜室真ん中の東芝」となりました。実用性を最重要視し、我が家には野菜室が真ん中にある東芝の冷蔵庫を迎え入れました。この冷蔵庫の場合、年間消費電力量が280kWhなので、これまでの冷蔵庫の450kWhと比較すると (450-280)×22円/kWh=3,740円で年間3,740円くらい光熱費が削減できます。東芝より価格の高かった日立の冷蔵庫の消費電力と比較して、光熱費で価格差を埋められる程ではなかったので280kWhでもよしとしました。



みなさんもぜひ電化製品を購入するときには、年間消費電力量をご確認ください。

『ワークショップ』

渡部良佑

設計担当の渡部です。5月から数回にわたって開催されたパッシブデザインワークショップにて、この12月に勉強成果としてプレゼン発表がありました。



認定低炭素や改正省エネが始まる少し前からそれに伴う計算ソフトが出始めていましたが、ソフトが出来ていても使う人が理解できていなければ、何の意味もありません。このワークショップでは、改めて基礎知識の再確認等出来ました。

初回のワークショップでグループ分けがなされ、他の設計事務所や工務店の方々やテーマや架空の家族設定のもと実際に存在する土地に住宅を計画します。その計画した住宅をソフトにて様々な数値計算を行い、それをプレゼン形式にまとめるというものでした。

どのグループも配られたソフトを上手く利用し、ワークショップで学んだことをしっかり形にしていました。私のグループも夜な夜なでしたが、集まって試行錯誤しながら作りました。

実際に考え、意見を出しながらやっていくことで本当に理解出来たんだと思います。正直人前で発表するのはまだまだ上手く出来ませんね！

慣れと言われましたが、私にとってはそれも大きな勉強となりました。



エヌテックからも数名参加いたしましたが、見事アワードに輝いたのは佛崎さんがいたグループ。副賞として、野池先生より書籍を頂きました！



エヌテックでは、この本を活用してさらに知識を深めたいと思っています。

今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下陽子



「SHOSE LIKE POTTERY (スニーカー)」

2014年（平成26年）も、もうすぐ。新しい年、新春に向けて足元を新しくしたい気分の時、こんなシューズはいかがでしょうか？「SHOSE LIKE POTTERY」（焼き物のような靴）ある年代には懐かしい？1873年福岡（久留米）創業135年の歴史を持つ老舗靴メーカー“MOON STAR（月星）”のオリジナルスニーカーブランドです。「ヴァルカナイズ製法」=加硫製法にこだわって作るスニーカーです。加硫製法とは最終工程で「加硫缶」という窯に入れるのがこの製法の特徴で、まさに焼き物のように作られる結果、しなやかなソール、丈夫、美しいシルエットを保てるスニーカーになるそうです。未だに職人さんたちの手づくりによってつくられているそうで、手作業が作り出す精巧な作りは、国産ならではの味わい。ご覧のように至ってシンプルでベーシックなデザインで清潔感があります。ファッションや年代を問わず似あひそうですね。ちらっと見えるブルーのソールがオシャレ。「足元を見る」という言葉があるように、靴はファッションの要です。老舗ブランドが丁寧に作る清潔感溢れる真っさらな靴で新しい年をスタートするのもよさそうですね。ちなみに、コンバースのシューズを国内で生産しているのはムーンスターだそうです。



HP: <http://www.shoeslikepottery.com/>
公式ネット通販なし・通販取扱いのネットショップあり。白・黒があり、1足@10,290円（5%税込）

快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂和志



「温熱環境を考える」

雪も舞い落ちる季節になりました。いよいよこれからが冬本番ですね。快適を突き詰めるという事をテーマに綴ってきましたが幸せに永く安心して暮らすためには快適な温熱環境は欠かせない出来ません。「温熱環境については基本的な仮説がある。すなわち、最良の温熱環境とは、意識する必要のないものであり、ひとたび客観的に快い環境が整えられたならば、それで人の寒暖に対する要求がすべて満たされてしまうだろう」【Thermar Delight Architecture】より温熱環境について、正しくこの言葉通りだと思います。

暖房、冷房を意識しない（させない）ことこそが最良であり正しい温熱環境の在り方だと。

今、大変見直されてきた温度だけではなく湿度調整という概念。最良の温熱環境とは温湿度を適切に調整し快適環境を得るということなんだろうと考える訳です。そして温熱環境のみならずこれからは、清浄な空気の大切さを考える事に注力しています。

1日のうち9割の時間を室内で過ごすようになった今日、空気への関心はいやがうえでも高めて考えていかなければなりません。それは空気の浄化や気流の調整へ移りつつあるのです。これからは清浄な空気を追い求めなければならない時代になろうと思います。これからのエヌテックの取り組みにご期待くださいませ。

皆様、今年も色々とお難うございました。来年も引き続きよろしくお願ひいたします。それでは良いお年をお迎えくださいませ。